



第60回 日本小児神経学会学術集会に参加して

医局 白井 育子

5月31日(木)～6月2日(土)、幕張メッセ国際会議場(千葉)にて第60回日本小児神経学会学術集会が開催されました。今回のテーマは「こどものこころとからだの発達に寄り添う小児神経学」で、脳神経筋疾患を科学的に扱うとともに、心の問題にも対応し、発達をキーワードに、患者家族に寄り添う気持ちを大切に、という思いから選ばれ、最新の小児脳神経筋疾患のトピックに加えて患者会主催のセッションも設けられていました。

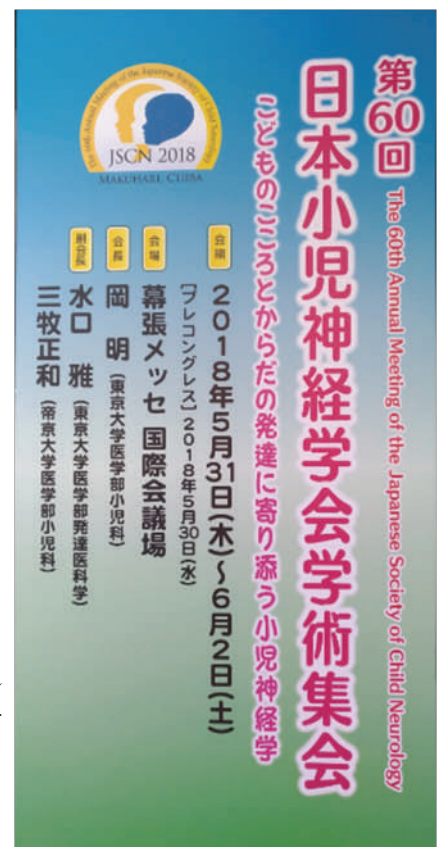
当センターからは、5演題を発表してきました。伊藤副院長は「高浸透圧非ケトン性高血糖状態を認めたMELASの2例」、田沼部長は「重症心身障害児者の加齢に伴う摂食嚥下機能の退行についての検討」、渥美医長はシンポジウム「知っておきたい摂食嚥下リハビリテーションの知識」の中で、「思春期から成人期の摂食嚥下障害リハビリテーション」、大越医長は「NASHによる肝硬変で死亡した重症心身障害者の1剖検例」、白井は「ECHS1遺伝子異常によるLeigh症候群に対する治療の試み」について発表および討論を繰り広げました。白井が報告したのは、前勤務先で経験した症例ですが、治療法がない進行性の難病であるLeigh症候群の中の、ある特定の遺伝子異常がある患者さんに対する治療について提案し、この治療が有効かどうかは症例を蓄積していく必要があり、原因追究の必要性を訴えました。

例年、開始日前日には多数の実践教育セミナーが開催されますが、5月30日(水)に、小出医長は「第4回小児脳機能研究会 - 臨床に役立つ臨床神経生理 - 」と「小児神経科医のための診断推論」、渡邊医員は「小児科医のための神経画像2018; MRIをもう一度学びなおそう」を聴講し、各々知見を深めることができました。

隣県ではありますが、やはり幕張までの道程は遠く、連日の往復に心が折れそうになりましたが、多くの魅力的な話題に触れて、普段お目にかかれない遠方の先生方とも直接お話ができる素晴らしい機会をいただきました。心残りは、会場内を移動するばかりで、海を眺めることができなかつたことくらいです。

来年は名古屋で開催される予定ですが、センターならではの話題提供をもっと増やしたいと思います。

学会に参加させていただき、どうもありがとうございました。また、神経小児科医の不在が多い学会期間中、センターを守ってくださった皆様に感謝申し上げます。





府中市みんなで楽しむ軽スポーツ大会に参加して

指導科 笠井 剛

5月19日(土)に開催された「府中市みんなで楽しむ軽スポーツ大会」に参加しました。

同大会は、気軽にできる軽スポーツを一緒に楽しむことにより健康の一助とするとともに、参加者相互の親睦と市民との交流を図り、理解を深めることを目的に開催されています。

今年度は、府中市内22カ所の障害者施設・団体の参加があり、当センターからは4病棟より6名の利用者が参加しました。当初はお天気も心配されましたが、当日は爽やかな気候にも恵まれ、玉入れ、パン食い競争、大玉ころがし、魚釣りゲーム等の競技を楽しむことができました。参加した利用者も、一生懸命に籠に玉を入れたり、景品をもらって嬉しそうに見つめたりと、普段とは違った様子でそれぞれに楽しんでいるようでした。最後の紅白リレーでは、当センターの2名の利用者が、それぞれ手添えや歩行器を使っての歩行で参加し、周りの声援を受けながら、次の走者を目指して、一步一步一生懸命に進む姿がとても感動的でした。また、当日はご家族やボランティアの方も一緒に参加し、交流や親睦を図る良い機会にもなりました。

当センターでは、今後とも地域との結びつきや、社会参加の機会を大切にしながら、利用者の生活が豊かなものになるように努めてまいります。



「劇団 あじさい」の正体は？

指導科 田中 栄子

6月5日(火)理学療法室にて、春の企画を行いました。今までの春の企画は、身体を動かすことを中心としたイベントを実施していましたが、今回は、趣向を変え“劇団あじさい”による春公演白雪姫を上演しました。エレベーターの混雑を考慮し、当日は2公演行い、病棟の利用者やご家族、職員に楽しんでもらえるようにしました。演目は誰でも知っている白雪姫。会場は大入り満員でした。舞台に世界で一番美しいお妃様が登場すると、どよめきの声がお妃様よりもっと、もっと美しい白雪姫が登場すると、「かわいすぎる、すてき」の歓声があがりました。そして、なんとといっても7人の小人さんがハイホーの歌とともに登場すると、場内が大爆笑に包まれました。ハッピーエンドで終わるこの物語のラストはもちろんダンスパーティです。指導科のスタッフが会場の利用者の皆さんと一緒にフォーチュンクッキーを踊りました。今回の企画では「どこの劇団が来るの？」と聞かれましたが、予想外の指導科による“劇団あじさい”の登場に「新鮮でインパクトがあってよかった」「皆さん芸達者ですね」「親子共々楽しみました」など多くのエールを送ってもらいました。今回の公演を見逃した方にはDVDを貸し出していますので是非ご覧ください。



2階病棟合同行事を開催しました

2-A病棟 小嶋 映子

5月30日(水)に2-B病棟を招待して、2階合同行事の「コンサート」を開催しました。童謡を中心に一緒に歌い、曲に合わせて鈴やマラカスなどの楽器を鳴らしコンサートを盛り上げました。プロジェクターを用いて一緒に歌うことができたので、みんな笑顔で楽しめました。

コンサート後半には、ボランティアの方がデイルームを回りながら利用者さん一人ひとりに対して声をかけてくれました。利用者さんは、笑顔をうかべたり喜びの声をあげたりととても楽しんでいる様子が伺えました。他の病棟の利用者さんも一緒に参加し、楽しんでいました。コンサートの最後には、2-B病棟の利用者さんから2-A病棟へプレゼントを渡し、2-A病棟の利用者さんはとても喜んでいました。

2-B病棟 バスハイク

2-B病棟 保育士

6月14日(木)に利用者さん4名と職員4名の計8名で、日野市にあるJAみなみの恵ファーマーズセンターへ行きました。利用者さんは、口紅を塗りプチおしゃれを楽しみいざお出かけ。当日は梅雨の時期にも関わらず、うす陽が射しとても過ごしやすい穏やかな日でした。これも、日頃の良い行いの賜物？ですね。万願寺のバイパスを越えたところで正面に見える富士山を見てもらいたかったのですが、残念なことにそれは叶いませんでした。絶景は次回に期待ですね！目的地にはセンターから20分程で到着し、利用者さんの負担も少なく丁度いい距離でした。

館内に入ると、日野市で採れた、トマト、大根、きゅうり等の新鮮な野菜や産みたての卵、おまんじゅう等の特産品が所狭しと並んでいました。店内をまわりお土産を吟味し、おやつで食べられそうなクッキーを購入しました。

そして、本日のメインイベントであるレストランへ。店員さんの温かい歓迎の言葉とともに席に案内されました。メニューには、美味しそうなものがいっぱい。その中から、クリームブリュレとコーヒーゼリー、アッフォガード(アイスクリームのエスプレッソがけ)を注文しました。それぞれの食べ物がテーブルに運ばれてくると、皆の笑顔がはじけました。一口食べると、手を叩いて笑顔になったり閉じていた目をパッチリ開けたりと、利用者さんは食事の美味しさに満足そうな表情をみせていました。店内の雰囲気もよく、あっという間に30分程のアフターヌーンティータイムが過ぎていきました。美味しいそうに食べている顔もたくさん写真に収め、最後はお店の看板の前に並び全員で記念撮影をしました。

初めての場所で、期待と不安の半日バスハイクでしたが笑顔いっぱいの楽しい外出になりました。





春の総合防災訓練を実施しました

事務室 山口 裕輔

5月22日(火)センターでは、春の総合防災訓練を実施しました。

当日、3-2病棟において、夜間に火災が起こった想定での訓練でした。

以前は事前にシナリオを作成していましたが、今年度から事前のシナリオ作成を廃止し、臨機応変な対応ができるよう取り組みました。当日は、センターで作成している火災発生時アクションカードを有効活用し、有事の際にも落ち着いて対応できるよう訓練しました。

その後の放水訓練では、消防署員の方々から消火器や消火栓の操作方法について説明を受け、実際に体験しました。職員からは「水圧が非常に強かった」「送水後のホースは重かった」等の意見があり、体験の重要性を実感しました。

最後に防災教育として、栄町出張所長から災害についてお話があり、日頃から防災について考えることの大切さを学びました。

今回の防災訓練では、全部署の職員が参加し、真剣に取り組む姿を見て、職員の防災に対する意識の高さを感じました。この総合防災訓練で得た知識や教訓を大切に、防災への意識をより一層高めていきたいと思えます。



通所遠足

通所 山下 佳代

5月24日(木)、25日(金)府中市美術館まで遠足に出掛けました。保護者の方も数名一緒に参加して頂き、楽しい時間を共に過ごすことができました。

また、2日間とも晴天に恵まれたので、府中の森公園を散策することができ、あじさいをはじめとした花々を見たり、噴水前でマイナスイオンを浴びたりしました。皆さんがとびきりの笑顔を見せていたのが、売店でのアイスやかき氷の味見をしている時でした。美術館よりも味見の方がメインイベントと感じた利用者さんもいたのではないのでしょうか！！

美術館では、長谷川利行展が開催されていました。絵をじっくりとみつめて鑑賞する方や静かな空間でリラックスしている方など、皆さんそれぞれの楽しみ方で過ごしていました。ワークショップもあり、3枚の中から好きな絵が書かれたカードを選んでフィルムシートを貼ってお土産として持ち帰ることが出来ました。様々な芸術や自然に触れ合えた遠足でした。来年も晴天になりますように！！



〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042(323)5115

Fax 042(322)6207

--*ホームページもご覧下さい*-*-*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>